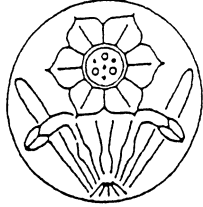


平成15年度 第1号

平成15年4月30日発行(1)

会報



すいせん

2003.4.30

81号

社団法人 福井県放射線技師会

発行者:真柄義一
編集責任者:南利昭

〒915-0068 福井県武生市天王町4-28 財団医療法人 中村病院内 E-mail:fart@ma.interbroad.or.jp
TEL(FAX)0778-22-0696 HP:http://www2.interbroad.or.jp/fart/

会 告

(社)福井県放射線技師会
会長 真柄 義一

平成14年度(第55回)定期総会開催

本会の定款第20条に基づき、平成14年度(第55回)定期総会を開催いたします。

記

1. 日時 平成15年5月25日(日)9時半より(9時受付開始)
2. 場所 福井赤十字病院 栄養棟3階講堂
福井市月見2-4-1 TEL 0776-36-3630
3. その他 欠席される方は委任状に署名捺印の上御返信ください。
準備の都合上、出席される方もはがきを返信してください。

第55回 定期総会次第

開会の辞
 会長挨拶
 功労表彰 森永博之、高橋 治、白崎範雄、
 山川典子、有房栄嗣
 勤続20年表彰
 水谷富士雄、高橋 治、春田 功、
 西出 裕子
 資格審査委員及び総会運営委員選出
 各々理事1名、構成員2名の計6名
 議長選出
 議長登壇
 資格審査委員会報告
 総会成立宣言(議長)
 総会運営委員会報告
 総会役員選出
 書記2名、議事録署名人2名

議 事
 第1号議案 平成14年度事業報告、庶務報告、決算報告、監査報告
 第2号議案 平成15年度事業計画案、予算案
 第3号議案 事務所取得について
 第4号議案 スローガンの承認
 第5号議案 その他
 閉会の辞
 講演 「日本放射線技師会の動向」
 -生涯学習システムを中心にした-
 佐久川 哲 先生
 (社)日本放射線技師会副会長

(2)

平成14年度 事業報告

《総括》

今年度は、日本人が3年連続してノーベル賞を授賞するとともに、史上初のダブル受賞する明るいニュースがあった反面、相変わらずの不景気に加え原発の点検不正、北朝鮮からみの拉致問題。極め付きは3月20日に勃発したイラク戦争など暗いニュースも多く、社会全体に落ち着きがなかったように思える。

このような中、永年(社)日本放射線技師会を支えられてきた中村 實会長が第一線を離れ名誉会長に就任されると同時に、後任に熊谷 和正氏が会長に就任され、スピーディーな会の運営をモットーに新執行部が誕生した。

本会においては、私達の役割である放射線管理、医療被ばくの低減、放射線機器管理の推進、事務所取得等の問題を一つひとつ解決することに主眼を措いた運営を行ってきた。

特に、放射線管理についてはスローガン「皆で取り組もう！放射線安全管理の実践」の如く、放射線管理委員会を中心に放射線災害時における対応として、緊急時被ばく医療ネットワーク検討委員会への参加やGM管サーベイメーター取扱い実習等を行ってきた。この緊急時被ばく医療ネットワーク検討委員会への参加については、放射線災害時における我々の役割が明確化され、県をはじめ各関連団体に浸透しつつある。

また、昨年度より県に対して「原子力防災訓練への参加ならびに防災計画への名称の記載と役割の明確化」を要望してきた甲斐があり、平成15年度の防災訓練では、(1)訓練前に行う医療従事者の事前研修における、放射線の基礎知識およ

び放射線測定機器の取扱い実習に係る指導、(2)訓練当日、救護所等における一次スクリーニング等の方法の検証、についての協力。原子力防災計画上の取扱いについては、現在原子力防災編の緊急被ばく医療に関わる計画について修正が検討されており、次年度以降の訓練において「人材育成」の指導的役割を担う機関として位置付けられる予定であり、本会の対応が重要視される。

次に、医療被ばくの低減ならびに放射線機器管理の推進については、年度途中ではあるが、機器管理ならびに放射線管理の認定講習会の地方開催要綱を受け、一部石川県と合同で本講習会を開催した。冬期間にもかかわらず、96名もの多くの会員が受講し3月21日の認定試験に備えたことにより、少なからず会員の意識改革に繋がったものとする。この場を借りて、受講者の皆様方ならびに関係各位にお礼を申し上げる次第である。

事務所取得については、福井市医師会館ならびに福井県歯科医師会館を賃貸することを前提に、取得するための諸問題を検討してきたが借り受けることができなかった。残念なことではあるが、来年度の懸案事項として委員会を設置して、再度検討を加え対応していく所存である。

以下、各委員会の報告に委ね平成14年度事業報告の総括とする。

委員会報告

広報調査委員会

本年度は、広報活動として3つの事業を行いました。

リーフレット作成

平成12年度から、患者さんを対象として我々放射線技師が各検査にどの様にかかわり検査を進めるかといった、リーフレットの第3弾(胸部編)を発刊しました。

会員の皆様、日常業務に活用して頂けたら幸いです。さらに今後4部門の発刊を予定しております。

IT講習会

ホームページの開設にあたり、各会員の皆様から希望の多かったIT講習会を10月30日(金)ユアアイ福井にて開催しました。

講演内容：表計算ソフト(エクセル)の使い方

講師：三谷商事(株)情報システム事業部

黒田 裕美先生

をお願い致しました。尚、パソコンの都合上、人数制限があり会員の皆様に大変ご迷惑をかけたことを、お詫び申し上げます。

ホームページについて

平成13年6月からホームページが立ち上がり、アクセス数も3200件を超えるようになりました。今年9月に総務省からインターネットによる公益法人のディスクロージャーとして“業務・財務等に関する資料”をホームページ上に公開するよう要請があり、3月にUPし、会員の皆様にも参考にしてもらえればと思っています。

又、地域医療対策委員会におきましても、独自のホームページが立ち上がり、休日急患センターの出務一覧表やその他の情報をリアルタイムに把握できるようになりました。又、市民を対象としたページが12月に立ち上がり内容として、

放射線についてのお話し

放射線技師になるためには

といった項目です。

今後、会員皆様の情報交換、又勉強会や研究会などと連絡を密にし、情報社会に則した内容に仕上げていきたいと思っております。

地域医療対策委員会

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務の円滑な運営を行なう為に、以下のことを行なった。

1. 会員向け出務アンケートおよび出務会員、施設長への依頼文を発送した。(2月)
2. 出務者の割り振り作業を行なった。(2月21日)
3. 年間出務予定者の一覧表および個人別年間出務日程表を作成し、発送した。(3月)
4. オリエンテーションを開催した。(3月25、27日)
5. 出務予定者に対し、出務日の案内を葉書による

直前連絡で通知した。(通年)

6. 年間業務量の調査を行なった。(3月)
7. 委員会専用インターネットホームページの委員会情報、出務情報等をupdateした。(通年)
8. 「出務者の集い」を開催した。参加者26名(1月31日)

福井市休日急患センター

・出務費の支払いを4半期ごとに銀行口座振込みした。(4、7、10、1月)

・年間撮影フィルムの評価を行ない、撮影条件等の検討を行なった。(2月21日)

・平成14年分の報償費支給明細書(源泉徴収票)を作成し郵送した。(1月)

・新CT装置のオリエンテーションを開催した。(5月10、11、14日)

大野市休日急患診療所

・撮影フィルムの評価を行ない、プログラム撮影条件の再検討を行なった。(10月9日)

・自現機等の機器管理を行った。

・新外科用イメージが導入され、操作方法、撮影条件の確認を行い、委員会情報へ掲載した。(9月4日)

・平成14年分の報償費支給明細書(参考金額)を作成し郵送した。(1月)

その他(源泉徴収税関連)

出務会員に対して、税務署への出務手当てに関する確定申告を促し、源泉徴収税納付への対応として以下の本年度分帳簿を作成した。

出務簿 口座振込みの記録簿 所得税源泉徴収簿 所得税納入高計算書兼領収書 報償費報告書 源泉徴収票・市町村提出用給与支払総括表 確定申告を勧める文書

福利厚生委員会

今年度は、早くから野球大会の練習日程を組み、参加者の呼びかけを積極的に行なった。今回の野球大会への意気込みは凄まじく、大会に万全の状態でもちようとしていたが、雨天のため無念の中止となった。夏休み企画では台風が接近している関係上、地引網に急遽変更したが、家族そろって地引網・クルージング・海鮮なべを堪能できた。恒例となっているボーリング大会では、マンネリ化してきたので、運営に工夫をして欲しいという意見があった。

1. 7月2日、4日、9日 野球大会練習 鯖江市営野球場にて
野球大会登録選手、練習参加者 25名
2. 7月13日 北陸3県放射線技師野球大会 雨天中止
3. 8月18日 夏休み企画「定置網体験へ行こう」
敦賀市名子にて 34名参加
4. 11月26日 嶺北地区ボーリング大会
WAVE40にて 38名参加
5. 2月28日 嶺南地区ボーリング大会
平和ボウルにて 16名参加

(4)

学術研修委員会

14年度中は県技師会勉強会の年度テーマ『頭部領域の基礎的な解剖学とその治療』で行いました。平日のお仕事が終わってからの勉強会にも係らず多数の会員の皆様に参加して頂きありがとうございました。8月のセミナーの開催、機器管理責任者・放射線管理士認定講習会と会員の皆様にとっては大変忙しい年度であったにも係らず全てにおいて多数の参加があり、皆様の職務に対する熱心さが伝わってくるように思われます。我々もこれに負けないよう、次年度の勉強会においても出来るだけ日ごろの業務に役立てられるようなものと考えています。次年度のテーマ、勉強会の内容に対して何か要望とかご意見がありましたら電話・メール等でご連絡ください。

第1回 勉強会 (参加人数 51名)

場 所：中村病院 会議室
時 間：平成14年7月3日(水)18:30~20:30
内 容：サブテーマ『CT・MRで見る解剖について』
特別講演

「後頭蓋窩を中心とした解剖と疾患」
中村病院 副院長 野口 善之 先生

会員発表
「CT・MRで見る解剖について」
- 実質臓器を中心に -
中村病院 佐々木 基充

「CT・MRで見る解剖について」
- 脳室を中心に -
福井県立病院 村中 良之

第2回 勉強会 (参加人数 56名)

場 所：福井医科大学附属病院 臨床中講義室
時 間：平成14年11月1日(金)18:30~20:30
内 容：サブテーマ『脳の機能とその支配領域』
特別講演

「脳のfunctional MRI」
福井医科大学附属病院 放射線科
山田 弘樹 先生

会員発表
「脳の機能とその支配領域」- FMRIを中心に -
福井赤十字病院 秋田 直昭

「脳の機能とその支配領域」
- 脳における支配領域の基礎的解剖を中心に -
福井医科大学附属病院 福島 哲弥

第3回 勉強会 (参加人数 65名)

場 所：福井県立病院 成人病センター4階(研修室)
時 間：平成15年2月19日(水)18:30~20:30
内 容：サブテーマ『血管系(vascular)における診断と治療』

特別講演
「症例でみる脳血管造影とそのIVR」
福井県立病院 脳神経外科 医長
得田 和彦 先生

会員発表

「脳血管の基礎解剖学、IVRの諸注意について」
- 計測も含めて -
福井県立病院 山中 良治
「RIでみる脳血流画像」
- IMP ARG画像を中心に -
県立すこやかシルバー病院 佐藤 利明

平成14年度福井県放射線技師会セミナー(放射線管理委員会・学術研修委員会合同開催)(参加人数 53名)

テーマ：『放射線の安全管理のために』

場 所：福井県中小企業産業大学校 大教室

時 間：平成14年8月31日(土)

セミナー 午後5時~7時15分

懇親会 午後7時30分~

内 容：1. GMサーベイメータの取り扱いに関する講習

敦賀市民病院 山崎 巖

2. 緊急時被ばく訓練参加記

若狭健康福祉センター 和泉 哲夫

3. 特別講演

演 題「なぜ今、医療放射線被曝防護を考えるのか？」

講 師 国立循環器病センター

粟井 一夫 先生

(社)日本放射線技師会防護分科会会長

放射線管理委員会

今年度は、活動初年度として、放射線の安全管理における基礎作りをテーマに活動を行いました。

・セミナーの開催

“放射線の安全管理のために”と題して、学術委員会と合同でセミナーを開催しました。内容は、山崎委員による「GMサーベイメータの取り扱いに関する講習」、および和泉委員による「緊急時被ばく訓練参加記」の2つの発表と、国立循環器病センターの粟井一夫先生による「なぜ今、医療放射線被曝防護が必要か。」の講演で、その後粟井先生を交えて懇親会を行いました。

・施設放射線測定安全研究会への参加

(社)日本放射線技師会が開催する施設放射線安全測定研究会に、4月と10月の2回参加し、漏洩線量測定の現状や今後の技師会としての取り組みについて討論を行いました。また、作業班のメンバーとして、報告書作りに参加しました。

・福井地区緊急時被ばく医療ネットワーク調査検討会への参加

福井県において緊急被ばくが発生したときの対応に関する検討会が発足し、今年度2回の会議が行われ、技師会として会長とともに参加しました。

・サーベイメータの取り扱いに関する講習(敦賀地区)

・放射線管理士講習会への協力

組織調査委員会

放射線技師養成学校における、福井県出身在学調査
全国放射線技師養成校35校に対して在学調査を
実施しました。

その結果、14年度卒業見込み者は13名でした。
前年度と比較すると3名減の結果となりました。

求人・求職情報
平成14年度の技師会に対して依頼のあった求人数
は、10施設12名でした。

福井県放射線技師会員の情報管理の整備・勉強会
に対するポイント管理
技師会主催の研究会に参加した会員に対して、日本
放射線技師会に定められたポイントを加算しています。

福井県内の非会員に対する調査及び入会促進
非会員に入会案内、日本放射線技師会の案内パン
フレットを送付しました。

本会会員の業務内容に対するアンケート調査
放射線技師の業務内容把握する目的で調査アンケ
ートを行いました。
結果は別添しております。(会誌に掲載)

鈴鹿医療科学大学への入学案内を県内の高等学校
20校に送付しました。

出版事業委員会

福井県放射線技師会雑誌 24号発行
福井県放射線技師会会報「すいせん」4回発行
福井県放射線技師会「かわら版」1回発行

(社) 福井県放射線技師会財産台帳 (図書、ビデオ)

品 名	著 者	摘 要
明日への旅立ち	中村 實著	
今日の課題	中村 實著	
対話と人間	日本放射線技師会編	
放射線技師の挑戦	日本放射線技師会編	
赤灯の下	松 陽子著	
CTシステム入門	日本放射線技師会編	
労働衛生一般関係法令	日本作業環境測定協会	
骨格X線解剖学	中村 實監訳	
医療放射線管理のための様式集	日本放射線技師会編	
医療用放射線の安全取扱	石坂 正綱著	
NMRの理論と臨床	日本放射線技師会編	
沈黙の医療戦士	日本医療技術団体協会	
35年誌	日本放射線技師会編	
姿勢、展望	中村 實著	
日本人の生活と放射線	菅原 努著	
放射線技師のパーシエントケア	日本放射線技師会編	
患者さんへの思いやり	日本放射線技師会編	
放射線技術臨床実習の手引	小島迪子・小笠原哲著	
実践英会話	日本放射線技師会編	
医療に心を	日本放射線技師会編	
提言(放射線技師の21世紀への布石)	日本放射線技師会編	
研修100回記念誌	福井県総合画像研究会	
チーム医療と放射線技師	日本放射線技師会編	
35周年記念誌	石川県放射線技師会	著者寄贈
35年のあゆみ	山梨県放射線技師会	著者寄贈
40年のあゆみ	東京都放射線技師会	著者寄贈
リーダーとしての私の考え	東京都放射線技師会	著者寄贈
明日への響	東京都放射線技師会	著者寄贈
21世紀の胎動	中村 實著	
生涯教育テキスト1-6	日本放射線技師会編	
臨床実習指導者としての自覚	日本放射線技師会編	
新しい「医薬税制」	医薬税制研究会	
右脳クラシック鑑賞法	品川 嘉也	
医療に貢献する放射線技師	V 日本放射線技師会	
胃X線検査(1)	V 日本放射線技師会	
プライマリ・ケアにおける頭部CTの読み方a-c		(K)エーザイ寄贈
放射線技師のインフォームドコンセントa,b		(K)エーザイ寄贈
CT検査を受けられる方へ		(K)エーザイ寄贈
MRI検査を受けられる方へ		(K)エーザイ寄贈
画像診断と造影剤		(K)エーザイ寄贈
明日に刻む対話	中村 實著	

(6)

平成の大学	中村 實著	
MRI検査を受けられる患者さんへ	V 日本放射線技師会	
医用放射線計測学	中村 實監修	金森 勇雄氏寄贈
50周年記念誌	群馬県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	茨城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	東京都放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山形県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	北海道放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	大阪府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	兵庫県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山梨県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	福岡県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮城県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	宮崎県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	山口県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	長野県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	京都府放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	富山県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	三重県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	栃木県放射線技師会	著者寄贈
50周年記念誌	静岡県放射線技師会	著者寄贈
健康政策六法(平成14年度版)	医療法制研究会	日放技寄贈
医療法人のための税務調査対策	中央経済社	著者寄贈
公益法人の税務	公益法人協会	購入
放射線安全管理の手引き	日本放射線技師会編	

(社)福井県放射線技師会財産台帳(備品)

取得年月日	品名	摘要	廃棄年月日
1974	印箱	購入	
1975	ナンバーリングスタンプ	購入	1996・6
1978	レターケース	購入	1996・6
1979	会旗	山本信次郎氏寄贈	
1981	プロジェクター	大橋 基氏寄贈	1996・6
1982	映写用スクリーン	橋本 剛氏寄贈	1996・6
1984	レントゲン博士ブロンズ像	(株)コニカメディカル寄贈	
1985	スライドホルダー	中村 昭満氏寄贈	
1988	救急箱	購入	
"	NECワープロ(文豪3V2)	土谷 重男氏寄贈	
1990	コピー機(CANON FC1/2)	中村 昭満氏寄贈	
1993	野球ユニホーム一式	山本 稔氏寄贈	
"	書籍箱	中村 昭満氏寄贈	
1995	会旗一式	山本 信次郎氏寄贈	
1998	NECパソコン パリユースターNXVS20C	山本稔・岡田時治氏寄贈	
1999	サーベイメーター(電離箱式)	購入	
2000	Panasonic FAX付電話 KX-PW16CL	大西 信蔵氏寄贈	
"	NEC ISDNターミナルアダプター Aterm IT20D	大西 信蔵氏寄贈	
"	EPSON レーザープリンター LP-8300	伊藤医療器株式会社殿寄贈	
"	事務用机	伊藤医療器株式会社殿寄贈	
2001	クーラーBOX	購入	

平成14年度監査報告

社団法人 福井県放射線技師会
会長 真柄 義一 殿

私共は、社団法人福井県放射線技師会の平成14年度(自平成14年4月1日至平成15年3月31日)会計年度における計算書類、すなわち収支計算書及び財産目録について、会計帳簿の閲覧及び証憑書類の突合に依る監査手続を実施致しました。

その結果、法人の会計記録は公正妥当に処理され、決算書は明瞭に表示されているものと認めます。

平成15年4月16日

社団法人 福井県放射線技師会

監事 花 山 新一 印

監事 岡 口 有 明 印

平成15年度 事業計画案

《総括》

平成不況が続く中、4月1日より暮らしや経済に関わる様々な制度が変わった。医療界においては、サラリーマンの医療費の自己負担がアップする一方、年金の給付が減額となるなど大変厳しい状況にある。

このような状況を見てもわかるように、常に社会は変動しており我々診療放射線技師の職制も変貌しているのが実状である。つまり、放射線技師免許を持っているだけでは生きていけない時代となっており、自らが付加価値を身につけることが今後を生き抜く条件となる。

(社)日本放射線技師会では会長が替わり、運営形態が大きく変貌している。特に生涯学習システムの概要が公表され、会員に付加価値を付け評価していこうとしている。しかしながら、この付加価値が評価されなければ意味がないものとなり、評価されるための方策が今後の課題と言える。また各個人が、評価されるためには何を行わなければならないのか考え実行することも肝要である。

(社)福井県放射線技師会においては、当然のことながら日放技と歩調を合わせて事業を推進することには代わりはないが、今年度も昨年同様に目の前にある問題を一つひとつ解決することに主眼を措いた運営を行いたいと考えている。

特に、放射線災害時における対応体制の構築が挙げられる。これは、原子力防災計画に本会の役割が明記されることだけでなく、放射線を扱う専門職また公益法人としての役割でもある。幸いなことに、昨年放射線管理士の認定講

習会を開催し96名が受講し放射線管理の専門知識を習得しており、会員一人ひとりの協力を得て対応したいと考えている。

また、ここ数年検討を重ねてきた事務所取得については、委員会を結成して賃貸をベースに検討を加えている。この問題になると、会費の値上げ等金銭的な負担がかかってくるため、会員各位の理解と絶大な協力がなければ成し得ないことである。

しかしながら、公益法人として事務所取得は法的にも必要不可欠である。現在の法的事務所は土谷元会長宅にあり、いつまでも甘えている訳にはいかない。また現在実務を行っている事務局も、施設長の好意により貸借人契約のみで借り受けており、光熱費等も支払っていないのが実状である。

平成17年3月には法人化25周年を迎える。この節目の年に向け、公益法人、社会人としての常識ある団体として一歩前進し、自らの力で事務所を取得するとともに公益事業を拡充することが社会評価を得ることに繋がるものと考えている。

以上のように、事務所を持つことが直接的に会員のメリットとして現れてこないかもしれないが、会員各位の理解と協力を重ねてお願いする次第である。

このような面から、今年度のスローガンを「公益法人としての事業拡充」として事業を推進していきたいと考えている。

以下、各委員会の報告に委ね平成15年度事業計画案の総括とする。

(8)

平成15年度各委員会事業計画案

広報調査委員会

本委員会はリーフレット作成の第4弾として“消化管撮影”を予定しています。

今後更に3部門での発行予定です。

ホームページ開設にあたり今現在、会員専用になっておりますが、昨年度は、一般市民向けのページを2～3枚UPし、本年も同様に行い又、各学会、勉強会などとリンクをはり、多くの情報を皆様につたえられたらと考えております。内容等が決まり次第UPする予定です。

IT講習会

昨年度に引き続き、IT講習会を開催する予定です。詳細は日程が決まり次第お知らせ致します。

地域医療対策委員会

福井市休日急患センターおよび大野市休日急患診療所における放射線業務が円滑に遂行できるようサポートする。

- ・平成14年度業務量の統計管理と行政関係への報告書等作成
- ・撮影フィルムの画像評価チェック(撮影条件等の検討)
- ・報償費支給明細書関連簿()の作成と確定申告の勧め
- ・大野市に対して撮影設備充実のための要望
- ・出務割当関連作業と年間及び直前出務連絡用の個人宛出務日通知の発送
- ・オリエンテーションの開催
- ・インターネットホームページの委員会情報や出務情報の提供とより一層の提供と充実
- ・その他(機器管理、口座振込等etc)

組織調査委員会

放射線技師養成学校における、福井県出身在学生調査
求人・求職情報
福井県放射線技師会員の情報管理の整備・勉強会に対するポイント管理
福井県内の非会員に対する調査及び入会促進
本会会員の業務内容に対するアンケート調査
鈴鹿医療科学大学への入学案内を県内の高等学校に送付する。

学術研修委員会

昨年度の勉強会は平日の夜、土曜日のセミナーとお仕事で疲れているにもかかわらず多くの意欲ある人たちが参加して頂き、ありがとうございました。本年度もできるだけ多くの皆さんに参加して頂けるように下記の企画を考えました。会員の皆様には日常業務と学術的な勉強会等にお忙しい事と思いますが、ご協力と参加の程よろしくお願いたします。

- 1、セミナーの開催 平成15年7月中旬
テーマ『マンマピギナーズセミナー』
- 専門技師認定に向けて -
- 2、勉強会の開催
今年度のテーマ『医療画像のデジタル画像化に向けて』
第1回(10月20日 水曜日)
内容：CR画像の基礎知識と特徴
- メーカーによる違いはどこにあるか -
第2回(2月18日 水曜日)
内容：PACSの基礎知識と運用
- PACSの運用方法とオリジナルデータについて考える -
- 3、被曝線量測定の実施(6月～2月)
14年度にひきつづき、県内の希望される施設に対して胸部撮影時の患者被曝線量(表面線量)の測定と画質の評価を行う。また、その結果と今後の検討事項をまとめ、各施設にその結果をフィードバックする。

福利厚生委員会

引き続き、野球大会に力をいれていきたい。特に今回は小松ドームで行われ、開催が保障されている関係上、昨年以上に頑張りたい。その他の企画も昨年度の反省をふまえて、運営に努力していきたい。会員皆様の御協力をお願いしたい。

- 1、野球大会練習 6月下旬から3回程度予定
- 2、北陸3県放射線技師野球大会
7月19日 小松ドームにて開催予定
- 3、秋のレクリエーション 8月下旬
初心者向けの登山を企画
ボーリング大会(嶺北地区、嶺南地区)

放射線管理委員会

平成15年度は、緊急被ばく事故が発生した際に、私たち放射線技師が役割を十分に果たしていくための事業を行っていく予定です。

- ・緊急時医療対策施設見学と被ばく医療講演会
- ・サーベイメータの取り扱い講習
- ・福井県放射線技師会における管理士の集いの開催
- ・サーベイメータの管理
- ・緊急時における連絡網の整備
- ・中日本地域における緊急時の協力体制に関する話し合いへの参加
- ・緊急時被ばく医療ネットワーク調査検討会への参加

出版事業委員会

福井県放射線技師会雑誌 25号発行
福井県放射線技師会会報「すいせん」4回発行
福井県放射線技師会「かわら版」随時発行

議題 3 . 事務所取得について

主旨

数年前より、幽霊法人が増加し適正な法人の運営が問われております。本会においても、平成9年より3年に1回所轄官庁の監査を受けているのが現状であります。

現在、公益法人としての認可を得るためには、基本的なところで事務所を持つことおよび資産（運営資金）が一千万円以上という条件があります。

本会においては既に法人の認可を得ていることから、この条件に関して指摘は受けていません。しかしながら本会の法的事務所の所在地は、法人化以来土谷元会長の自宅となっており、近年では公的事務所が個人宅にあることは、社会的に見て問題になるところであります。これまで事務所を置いて頂いたご好意はご好意として、早急に移転する必要があります。

また、実務を行う事務局は歴代会長の所属施設のご好意により借用して運営してきました。しかしながら、医療界の現状を考えれば今後所属施設の借用は期待できないだけでなく、社会評価を得ようとするならば極力さける必要があります。

これまで、定款を改定し諸規定の整備を行うとともに、明確な法人会計処理を行うため外部監事として公認会計士を迎えるなど、社会に認められる法人としての運営に取り組み、その成果も上がってきています。

事務所を持つことが直接的には会員の皆様方のメリットとして現れてこないかもしれませんが、会員の情報基地としての役割、社会評価を考えると事務所の取得は公益法人としての最低限の義務であります。

会員の皆様方におかれましては、本主旨をご理解頂き事務所取得に関する承認を頂きますようお願い致します。

委員会での検討内容

賃貸

基本的には、会員各位の金銭的負担をできるだけ少なくするため、賃貸を考えています。賃貸の相場は、福井市板垣付近で20～30平米3.5～5.0万円であり、光熱費や人件費を加えると月10万円以上の運営経費が必要となります。この金額で試算すると、一人あたりの負担が年間5,000円程度となり、同額以上の会費値上げを行わなくてはなりません。

現在取得案として、1ヶ月8千円程度の賃貸する部屋を仮押さえしてあります。部屋は、3室（8畳間1室、6畳間2室）トイレ、台所付き、約40平米と格安であります。物件は昭和38年に建築されたもので築40年経っていることから改装する必要があります。（改装費用110万円程度）

しかしながら、改装費用を一時的に捻出すれば、次年度からの運営諸経費が格安になり人件費が捻出できるとともに、会費の値上げが2,000～3,000円程度になり会員の負担が軽減されます。

運営諸経費の比較

10年の賃貸契約を交わすことを前提に両方を比較しました。

項目	賃貸相場	借用案の場合	差 額	備 考
家 賃	40,000	8,000	3,2000	
光 熱 費	20,000	7,000	1,3000	
電 気 代	基本料金+実費	実費		
水 道 代	基本料金+実費	ナシ		地下水使用
ガ ス 代	市ガス	プロパン		
共同利用費	3,000	3,000		浄化槽等
計 / 月	63,000	18,000	45,000	

63,000 × 12 × 10 = 7,560,000 18,000 × 12 × 10 = 2,160,000
 敷金・礼金 60,000 改装費用 1,100,000
 7,620,000 3,260,000 4,360,000

10年で約4,360,000円程度の差額となる。

事務所備品購入費（両方に必要）

事務所を借り受けただけでは、事務所としての機能は成り立たない。当然備品の購入や設備投資が必要になる。

(10)

1. ADSLの配線工事および電話・FAXの設置
 2. 事務備品の購入
 3. 会議用のテーブル、椅子等
 4. コピー機or輪転機の購入
- 改修費の他に事務所充実費として500,000円程度必要

人件費（両方に必要）

基本的に事務職員を週3日（1時から5時まで）配置する。
パート代10,000円/週を見込んでいる。（年600,000円程度）

以上のように、賃貸相場で事務所を取得した場合の運営諸経費 756,000円/年
借用案で事務所を取得した場合の運営諸経費 216,000円/年
差額 540,000円/年

となり、借用案においては人件費分が節約できることとなります。

このことから、委員会では改装費用がかかるものの、会員の負担をできるだけ軽減できる賃貸の安い方法を選択した次第であります。

取得案

今年度、部屋の改装と備品購入を行い実際の運営は次年度（平成16年度）としたい。また、事務職員の確保を行い開設に備える考えでいる。

このため、部屋の改装と事務所備品購入費の計1,600,000円程度を、今年度特別会費として一人5,000円徴収する。（平成15年度会費を10,000円）

正会員5,000円×265名＝1,325,000円 賛助会10,000円×30社＝300,000円

計1,625,000円が見込まれる。

寄付金は随時受け付け金額にはこだわらない。

特別会費を徴収することで、今後入会金を2,000～3,000円程度徴収する。

賃貸契約は、平成15年10月頃とし部屋の改装工事を行う。なお今年度の賃貸料登記上の費用等は、特別会費の中から支払うものとする。

契約書の作成等契約に関しては専門家に依頼し間違いのないようにする。

運営諸経費

平成16年度から、登記してある事務所所在地を変更し運営を行う。このための運営資金は、会費を2,000～3,000円程度引き上げ事務所運営諸経費の項目で本会計に取り入れる。（正会員7,000～8,000円、賛助会20,000円）

必要経費：運営諸経費216,000円/年＋人件費600,000円/年＝816,000円

例：正会員2,000円×265名＝530,000円 5,000円×30社＝150,000円
計680,000円

不足分を一般会計から補填する。

「参考」

全国の会費状況を見ると、最低会費が5,000円（本県を含め3県）最高会費が12,000円（10,000円以上が18県）と幅がある。平均すると約8,500円となる。

また、入会金を徴収している県は27で半数以上となっている。このことから、今回の値上げが決して高いものではないと考える。

今後の手続き

1. 総会の承認：平成16年の会費値上げも含める
2. 賃貸契約書の作成と契約：小垣司法書士に相談
3. 会費納入規定の改定
4. 所轄官庁への所在地変更届け
5. 法務局への届出：例年どおり小垣司法書士に手続き依頼

(11)

平成14年度 (社)福井県放射線技師会 決算書 歳入の部

平成14年4月1日～平成15年3月31日

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成14年度 決算額 (ロ)	差異 (ハ)=(ロ)-(イ)	摘要
会費	正会員	1,595,000	1,730,000	135,000	会員の増加 3社新規加盟〔合計29社〕
	賛助会員	1,205,000	1,295,000	90,000	
		390,000	435,000	45,000	
寄付金		0	10,000	10,000	
雑収入	広告料	400,300	400,022	278	
	利息	400,000	400,000	0	
		300	22	278	
受託料	急患センター業務受託料	240,000	236,000	0	大野市役所
		240,000	236,000	0	
補助金		0	0	0	
繰越金		568,403	568,403	0	
				0	
収入合計		2,803,703	2,944,425	144,722	

平成14年度 (社)福井県放射線技師会 決算書 歳出の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成14年度 決算額 (ロ)	差異 (ハ)=(ロ)-(イ)	摘要
事業費	組織調査費	1,454,100	1,442,267	11,833	会員数×100円
	学術研修費	40,000	40,000	0	
	広報調査費	170,000	167,192	2,808	
	会誌会報発行費	140,000	140,000	0	
	福利厚生費	800,000	807,575	7,575	
	地域医療対策費	150,000	150,000	0	
	放射線管理費	20,000	12,800	7,200	
	中日本学術大会協力費	110,000	100,000	10,000	
	24,100	24,700	600		
会議費	総会費	340,000	328,513	11,487	
	理事会費	180,000	180,000	0	
	委員会費	100,000	110,613	10,613	
	代表者会議費	20,000	0	20,000	
	40,000	37,900	2,100		
事務費	印刷費	400,000	385,155	14,845	
	消耗品費	80,000	65,761	14,239	
	通信費	20,000	16,357	3,643	
	雑費	280,000	288,277	8,277	
	20,000	14,760	5,240		
役員報償	監事報償	30,000	30,000	0	外部監事1名分
		30,000	30,000	0	
旅費	役員会旅費	140,000	91,680	48,320	
	一般旅費	100,000	63,480	36,520	
		40,000	28,200	11,800	
管理費	事務所借料	104,000	69,346	34,654	法人税 登記、各種証明等
	租税公課	24,000	24,000	0	
	役員務費	20,000	0	20,000	
	60,000	45,346	14,654		
慶弔費		80,000	168,777	88,777	中村名誉会長慰労金10万円
予備費		55,603	0	55,603	
合計		2,803,703	2,715,738	87,965	

繰越金 2,944,425 - 2,715,738 = 228,687

(12)

平成15年度 (社)福井県放射線技師会 予算書(案) 歳入の部

科目	項目	平成15年度 予算額 (イ)	平成14年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
会費	正会員 賛助会員	1,775,000 1,325,000 450,000	1,595,000 1,205,000 390,000	180,000 120,000 60,000	会員 5,000円×265名 15,000円×30社
寄付金		0	0	0	
雑収入	広告料 利息	20 0 20	400,300 400,000 300	400,280 400,000 280	会報発行基金扱い
受託料	急患センター業務委託料	240,000 240,000	240,000 240,000	0 0	大野市休日急患診療所
補助金		0	0	0	
繰越金		228,687	568,403	339,716	
			0	0	
収入合計		2,243,707	2,803,703	559,996	

平成15年度 (社)福井県放射線技師会 予算書(案) 歳出の部

科目	項目	平成15年度 予算額 (イ)	平成14年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
事業費	組織調査費 学術研修費 広報調査費 会報発行費 福利厚生費 地域医療対策費 放射線管理費 中日本地域放射線技師 学術大会協力費	850,000 40,000 170,000 140,000 210,000 130,000 20,000 140,000 26,500	1,454,100 40,000 170,000 140,000 800,000 150,000 20,000 110,000 24,100	604,100 0 0 0 590,000 20,000 0 30,000 2,400	会誌発行基金創設 全国野球大会積立金別立て 線量計校正費を含む 100×265名
繰入金	会誌発行基金繰入 総会運営基金繰入 事務局整備基金繰入 野球大会積立金	480,000 250,000 130,000 100,000 0	220,000 0 0 200,000 20,000	260,000 250,000 130,000 100,000 20,000	この科目新設 基金を新たに創設 基金を新たに創設 全国大会開催見送り
会議費	総会費 理事會費 委員會費 代表者會議費	160,000 0 100,000 20,000 40,000	340,000 180,000 100,000 20,000 40,000	180,000 180,000 0 0 0	総会運営基金創設(後年度負担)
事務費	印刷費 消耗品費 通信費 雑費	400,000 70,000 20,000 300,000 10,000	400,000 80,000 20,000 280,000 20,000	0 10,000 0 20,000 10,000	
役員報償	監事報償	30,000 30,000	30,000 30,000	0 0	外部監事1名分
旅費	役員會旅費 一般旅費	100,000 70,000 30,000	140,000 100,000 40,000	40,000 30,000 10,000	
管理費	事務所借料 租税公課 役務費	104,000 24,000 20,000 60,000	104,000 24,000 20,000 60,000	0 0 0 0	法人税 登記、各種証明等
慶弔費		80,000	80,000	0	
予備費		39,707	55,603	15,896	
合計		2,243,707	2,803,703	559,996	

平成14年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計決算書 歳入の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成14年度 決算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
受託料		2,789,462	2,789,461	1	
	急患センター業務委託料	2,789,462	2,789,461	1	消費税の端数処理違い
寄付金		0	0	0	
	寄付金	0	0	0	
雑収入		300	0	300	
	利息	300	0	300	
補助金		0	0	0	
繰越金		0	0	0	
収入合計		2,789,762	2,789,461	301	

平成14年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計決算書 歳出の部

科目	項目	平成14年度 予算額 (イ)	平成14年度 決算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
事業費		2,576,650	2,616,725	40,075	
	出務費	2,426,650	2,426,650	0	
	研修会費	50,000	76,660	26,660	
	広報費	50,000	69,000	19,000	Web運用費
	備品購入費	50,000	44,415	5,585	ポケット線量計
会議費		50,000	37,850	12,150	
	委員会費	50,000	37,850	12,150	
事務費		150,000	110,107	39,893	
	印刷費	30,000	8,261	21,739	
	消耗品費	20,000	2,016	17,984	
	通信費	50,000	50,270	270	
	送金費	50,000	49,560	440	
予備費		13,112	0	13,112	
	予備費	13,112	0	13,112	
合計		2,789,762	2,764,682	25,080	

繰越金 2,789,461 - 2,764,682 = 24,779

平成15年度スローガン
「公益法人としての事業拡充」

(14)

平成15年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計予算書(案) 歳入の部

科目	項目	平成15年度 予算額 (イ)	平成14年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
受託料		2,796,612	2,789,462	7,150	
	急患センター業務委託料	2,796,612	2,789,462	7,150	
寄付金		0	0	0	
	寄付金	0	0	0	
雑収入		10	300	290	
	利息	10	300	290	
補助金		0	0	0	
繰越金		24,779	0	24,779	
収入合計		2,821,401	2,789,762	31,639	

平成15年度 (社)福井県放射線技師会 地域医療対策特別会計予算書(案) 歳出の部

科目	項目	平成15年度 予算額 (イ)	平成14年度 予算額 (ロ)	増減 (ハ)=(イ)-(ロ)	摘要
事業費		2,633,100	2,576,650	56,450	
	出務費	2,433,100	2,426,650	6,450	
	研修会費	80,000	50,000	30,000	
	広報費	70,000	50,000	20,000	
	備品購入費	50,000	50,000	0	
会議費		40,000	50,000	10,000	
	委員会費	40,000	50,000	10,000	
事務費		120,000	150,000	30,000	
	印刷費	10,000	30,000	20,000	
	消耗品費	10,000	20,000	10,000	
	通信費	50,000	50,000	0	
	送金費	50,000	50,000	0	
予備費	予備費	28,301	13,112	15,189	
合計		2,821,401	2,789,762	31,639	

緊急報告(福利厚生委員会)

平成15年度の北陸3県放射線技師野球大会は、下記の通り決定いたしました。会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

記

日時：平成15年7月19日(土)午後2時より

場所：小松ドーム

きれいな人工芝の上で、野球を楽しみましょう。

昨年、練習に参加された方にはおって、練習等御連絡いたします。参加されていない会員の方で野球が好きだという方は、下記アドレスまで御連絡ください。

yamazaki@kl.mmnet-ai.ne.jp 市立敦賀病院放射線科 山崎 巖

平成14年度全国野球大会積立金収支報告書

収入の部

科目	項目	科目額	項目額	摘要
繰越金	繰越金	182,535	182,535	
積立金	積立金	20,000	20,000	
雑収入	利子 寄付金	8	8 0	
合計		202,543		

支出の部

科目	項目	科目額	項目額	摘要
遠征費	遠征費 参加費	0	0 0	
用具費	用具費	36,949	36,949	ユニフォームの追加
諸経費	通信費 雑費	0	0 0	
合計		36,949		

今期繰越金額 165,594

平成14年度事務局整備基金収支報告書

年月日	摘要	収入額	支出額	残金	備考
H15.3.14	平成14年度積立金	200,000		200,000	
	合計	200,000	0	200,000	

理事会議事録

第7回 理事会議事録
平成15年3月19日(水)
於：中村病院 会議室

議題1．平成14年度第55回定期総会について
平成15年度スローガンについて
各委員会の事業内容を踏まえた上で検討した。
(各自4月10日までに事務局へ提出する。)
【了承】

議題2．総会時の講演について
常務理事会案：1) 日放技会長に、新生涯学習システムについて講演を依頼
2) 画像情報ネットワークを中心に電子カルテを含めた内容

【講演を日放技に依頼したところ、佐久川副会長に決定した。演題については、佐久川副会長と相談し決定する。】

議題3．功労表彰について
理事3期以上：有房栄嗣
委員会委員10年以上：山川典子、白崎範雄、高橋 治、森永博之
計5名

【承認】

議題4．勤続20年表彰について
(平成58年4月以前の免許取得者で、本会に平成4年4月1日以前に入会した者)
対象者：西出裕子、高橋 治、春田 功、水谷富士雄 計4名

議題5．(株)端野メディカル会社の賛助会入会について
(株)端野メディカル会社が賛助会への入会を希望している。入会について検討した。

【承認】

議題6．各委員会報告

議題7．その他
認定講習会の受講科目免除について
臨床実習指導者講習会の再開について

(16)

第8回理事会

平成15年4月23日(水)

於：中村病院 会議室

【報告事項】

施設放射線安全研究会の放射線公衆安全学会への移行について

総会時の講演について

議題1．平成14年度第55回定期総会について

総会役員について

平成15年度スローガンについて

「公益法人としての事業拡充」

【了 承】

総会運営について

準備・持参物等

議題2．事務所取得について

平成15年度内に取得を目指すことを前提に、今回の総会で決議しなければならない事項について検討したい。

【了 承】

議題3．臨床実習指導者(既認定者)の更新について
前回の理事会で議題となった臨床実習指導者について、日放技より既認定者の更新についての概要が送付されてきたので、この対応策について検

討したい。

福井県開催は不可能なので石川県での開催に相乗りする方向で取得者に連絡をする。

【了 承】

庶務報告

平成15年4月23日現在 会員数259名

新入会 奥田 顕治
光陽生協病院

勤務先住所変更

田中病院
〒910-0005 福井市大手2-9-1 2-3-1

転出

小室 裕冉 静岡県
木村 康人 兵庫県
山田 晃弘 愛知県

退会

田中 雅人
羽柴 真人
松宮 一仁
山口 真樹

平成15年度中日本地域放射線技師学術大会開催のご案内

表記大会を下記により開催致しますので、多数の会員の皆様方にご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 大会開催要項

日 時：平成15年7月5日(土)～6日(日)

会 場：金沢市アートホール(ポルテ金沢6F) 〒920-0853 石川県金沢市本町2丁目15番1号
Tel 076-224-1660 Fax 076-224-1668

内 容：1) 会員研究発表

2) 特別講演「診療放射線技師法の展望」講師：日本放射線技師会 熊谷 和正 会長

3) シンポジウム「主体性のある理想的な技師像について」

主 催：中日本地域放射線技師会

後 援：日本放射線技師会

当番県：石川県放射線技師会

参加登録費：1,000円(当日受付にて)

懇親会費：5,000円(当日受付にて)

- ホテル日航金沢

2. その他

宿泊の斡旋は致しませんのでご自身にて手配をお願い致します。

平成15年度全国放射線技師総合学術大会 - 「豹変への鼓動」社会は、医療は、私たちは -

[期 日] 平成15年11月20日(木)～22日(土)

[会 場] 大阪国際会議場

[参加登録費] 事前登録(9月30日〆切)5,000円

当日および会期中登録.....10,000円

懇親会費(9月30日〆切) ...10,000円

[申込方法] 県技師会事務局までFAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。